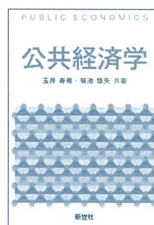


● 新世社 新刊・好評書のご案内 ●

公共経済学

玉井寿樹・菊池悠矢共著 A5・296頁・定価 2695円

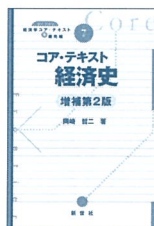
公共経済学は、厚生経済学を分析の基礎として、市場の失敗とその解決策を中心にして政府・公共部門の経済活動を幅広く考察する学問分野である。本書では、その理論やモデルを紹介・解説し、様々な社会・経済問題について原因を探ることで、解決策を見いだすための力を養成する。



コア・テキスト 経済史 増補第2版

岡崎哲二著 A5・224頁・定価 2640円

「制度と組織の経済史」をテーマとして読者を経済史研究の世界へと誘う好評入門テキストの最新版。増補版刊行後の経済史研究進展を踏まえて記述をアップデートし、経済活動の空間分布に関する自然実験、宗教の経済発展における役割、制度形成の政治経済学、工場制の生産性効果等に関する近年の評価等の解説を拡充した。2色刷。



ミクロ経済学

古川徹也・盛本晶子・渡辺雅仁共著 A5・216頁・定価 2640円

ミクロ経済学における必須の事項を精選した入門テキスト。家計や企業などの経済主体が、限られた資源のもとでどのような選択を行うか、それらが経済全体でどのように相互に影響しあうのか、どのようにして市場経済がうまくいくのかなどを解説し、経済学で重要な「モデルで考える力」を養成する。読みやすい2色刷。



国際貿易論

松村敦子・服部哲也・亀井慶太共著 A5・320頁・定価 2750円

新型コロナウイルスによるパンデミック、ロシア・ウクライナ戦争、米国のトランプ政権による関税政策など、世界経済や貿易の不確実性が高まる中、国際貿易論において、なぜ自由貿易が望ましいと考えられてきたのか、また貿易政策は何を目的としているのかを、理論面・制度面から丁寧に解説する。



● 好評既刊書

経済学Basics

大竹文雄著 A5・264頁・定価 2695円 [2刷出来]

教科書採用される先生に
講義用スライドご提供中

チケット転売は何が問題なのか？ 賢く資産をふやす秘訣とは？ 本書はこれから経済学を学ぼうとする読者に向けて様々な事例をもとに経済学のベーシックな考え方を解説した「入門の入門書」である。読みやすい2色刷。

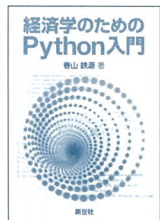
【本書について詳しく紹介した特設ページのご案内➡】



経済学のためのPython入門

春山鉄源著 A5・248頁・定価 2420円

Pythonを使って経済データを分析し、プログラミングを踏まえてより確かな理解を得る力を養成する入門書。大学1年生程度の経済学の知識を前提に、生成AI登場の中重要性を増すプログラミングの思考を培うためにPythonについて丁寧に解説する。本誌2・3月号広告にて本書著者名に誤記がございました。著者ならびに読者の皆様にご迷惑をおかけいたします。



新世社 発売 サイエンス社

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-3-25
TEL 03-5474-8500 (代)
<https://www.saiensu.co.jp> [価格税込]

